

男女の共演

プロボウリングの公式トーナメントは基本的には男女別々に開催されます。しかし年に何試合かは男女共催で行われています。

その代表格となるのが毎年九月に京都・MKボウル上賀茂にて開催される「MKチャリティカップ」です。今回で十回目となるこの大会、初回は男女別でしたが二回目からは共催として行われています。

「男女共催ってなにが違うの？」

そんなことを思うかもしれませんね。

普段のリーグ戦やイベントなどでは男女一緒に投げることはよくあることです。ではトーナメントではなにが違うのでしょうか。

一番の違いは何といってもレーンコンディションの変化の仕方です。男子プロは曲がり比較的大きく、女子プロは曲がり比較的小さいという球質の違いがどうしてもあります。ですので、同じコンディションでも、そのレーンに対する攻め方が異なってくる。その結果、普段、男子のみや女子のみのトーナメントとは異なるレーン変化をすることがあります。一例をあげれば、男子選手は曲がり大きい分、よりオイルのあるラインを投球します。そのため女子選手の立場からするとオイルのなくなり方が早いと感じてしまうということがあります。

観客の方からすると、男子・女子の両方を一度に観戦することができるのでこんなチャンスはなかなかないと思います。観客も普段のト

ナメントよりも多いのではないかと感じることも多々あります。

選手にしても、普段一緒に投げることでできない選手と投げるチャンスと思うかもしれない。逆によりにやりにくいと思うかもしれない。ある女子選手に聞いてみたことがあります。「怖い男子プロと投げると萎縮しちゃう」と言う方もいれば「まったく気にしない」「逆に普段と違って楽しみ」と感じ方はまちまちのようです。自分は、一昨年の大会で女子一期生の石井利枝プロと一緒にボックスで投球したときは、かなりドキドキしたことを覚えています。是非皆さまも一度トーナメント会場に足を運んでいただき、生の臨場感を味わってください。

新商品情報

一つ目はブランドズウィック「ネクサス・プロV」です。あのネクサスシリーズが約二年の充電期間を経て復活です。コンディション変化によるアジャストメントを最小限に抑えることを可能にし、シリーズ史上最強の攻撃力を備えたボールです。

二つ目はストーム「ロック」です。新コア・新カバーストックとストーム社最新技術を搭載し、オイル専用枠を超え、多様なコンディションで使用可能なボールです。メーカーも力を入れていますので注目です。



〈ドリラーのひとりごと 第10話〉

パウダー・滑り止め

今回からは小物についてお話をします。今回の紹介はパウダー類です。パウダーは「汗取り」「滑り止め」の大きく二つに分類されます。汗取りは手にかいている汗を取り除いてくれる役割があります。ハンドコンディショナーやパフボールがこれにあたります。投球の待ち時間などで、これらを握っていると、手にかいた汗を軽減させることができます。



もうひとつが滑り止めですが、ノンスリップパウダーなどがこれにあたります。野球のピッチャーが使用しているものと基本的には同じになります。手に汗をかいて滑ったり、指が抜けすぎてしまうときなどに使用すると効果があります。もちろん滑り止めですので、逆に抜けなくなるといふこともあるので使用には注意が必要です。

それぞれに特徴がありますので、どちらが良いかなどは、投球時の状態や、ボウラーそれぞれの体質によるところもあります。汗や滑って困っている方などは、一度試しに使用してみてください。ちよつとした気配りが投球に大きな影響をもたらすかもしれませんよ。

〈筆者〉



佐取賢プロ(44期)
JPBA/PBAプロボウラー
JPBA B級インストラクター
JBC公認ドリラー